



こしのまつばら

40

古志の松原

- 所在地／富山市浜黒崎
- 規模／幅0.05～0.15km、長さ5km、面積15ha、樹齢47～87年
- 指定／防風保安林、飛砂防備保安林
- 問合せ／富山市観光振興課 電話076-443-2072

富山県



COLUMN

古志の松原で有名な浜黒崎は、白い砂とクロマツの林が続く風光明媚な海岸で、海水浴場のほか、キャンプ場、バーベキュー場、コテージも整備されています。春から夏にかけては、多くの観光客で賑わいます。

立地環境

富山湾に面し、岩瀬地区から常願寺川の河口まで続く、長さ約5kmの松林。背後は、参勤交代の往還路であった浜街道になっています。

松原の今昔物語

江戸時代から君臨する、素晴らしい松並木

加賀藩主前田利長が、参勤交代のときに通る海辺の街道筋に松を植えたのがはじまりとされています。海側の松は冬の北風で、陸側の松は立山連峰から吹き下ろす南風で、それぞれ内側に向けて枝が曲がり、独特の景観を見せています。

初夏にはハマヒルガオが淡紅色の花をつけ、松林を彩ります。夜になると、ホタルイカ漁の漁火も遠くに見え、風光明媚の地として有名です。

昭和7年、帝国美術院長であった正木道彦氏が当地を訪れ、この美しい松原を激賞され、「古志の松原」と命名されました。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR北陸本線富山駅下車、浜黒崎東口行きバスで30分「浜黒崎」下車、徒歩1分

●車の場合

富山I.C.から40分
駐車場有り

